

提出日：平成 22年1月26日

仙台市 PTA 勉強会「どうする子どものネットとケータイ」 参加報告書

小野寺香絵（東北大学大学院情報科学研究科 技術支援スタッフ）

場所
アエル 5階(仙台市青葉区)
日程
2010年1月23日(土) 13時00分 ～ 16時30分
主催
仙台市PTA協議会、安心ネットづくり促進協議会
参加人数
約500名(保護者・教育関係者など)
大学参加者
篠澤和久(准教授)・小野寺香絵(技術支援スタッフ)
目的
情報モラルに関する現場での取り組みや最新の動向について調査する
概要および成果
1. 概要 本シンポジウムは、保護者を対象にインターネットや携帯電話のリテラシー向上を目的として開催され、主催者である「安心ネットづくり促進協議会」の普及啓発活動および、「仙台市PTA協議会」の保護者勉強会の一環として行われた。本プログラムからは、情報モラル教育の調査のため2名が参加した。 【基調講演】 「私の取材ノートから 現代の若者像に迫る ～ケータイがもたらす光と影～」 ジャーナリスト・獨協大学経済学部経済学科特任教授 江川 紹子氏 プライバシーの保護や雇用形態など、個々人の関わりに変化がある社会で、携帯電話やインターネットの存在がその変化を助長している。大人は、このような社会の変化を遠ざけず、足りないものを若者にどう補っていくのかを考えるべきだと語られた。

【特別講演】

「ネットやケータイで起きている犯罪、その他の問題、法制度の現状と今後の課題」

弁護士・弁護士法人 英知法律事務所パートナー 森 亮二氏

子どもが携帯電話を使った場合に関する「出会い系サイト規制法」や「青少年インターネット環境整備法」について、具体的な事例を交えて説明された。また、誹謗中傷に関する現状の問題点などの紹介もあった。

【パネルディスカッション】

「子どもとケータイ、どう向き合う？」

県外の中学校教頭より、子どもと携帯電話のかかわりについて3つの視点で話題提供され、それらについてパネリストが活発に意見を交わした。

- ①「子ども達の現状（報告）」
- ②「大人は子どもの良好なモデルか（問題提議）」
- ③「親子のあり方について（提案）」

2. 成果

子ども達のまわりで発生しているさまざまなトラブルを知り、学校と家庭の両方の立場からその解決方法について考えることができた。また、最新の法律や、学校現場の実態調査結果を知ることができ、非常に有意義なシンポジウムであった。